



2022年7月29日

各 位

会 社 名 モロゾフ株式会社
代表者名 代表取締役社長 山口 信二
(コード番号 2217 東証プライム市場)
問合せ先 代表取締役副社長 山岡 祥記
(TEL. 078-822-5000)

連結業績予想および個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年4月26日に公表いたしました連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2023年1月期第2四半期(累計)連結業績予想(2022年2月1日~2022年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,820	百万円 410	百万円 550	百万円 300	円 銭 42.66
今回修正予想(B)	14,550	720	900	570	81.04
増減額(B-A)	730	310	350	270	
増減率(%)	5.3	75.6	63.6	90.0	

(2) 2023年1月期通期連結業績予想(2022年2月1日~2023年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 30,630	百万円 1,540	百万円 1,680	百万円 1,000	円 銭 142.19
今回修正予想(B)	31,360	1,750	1,950	1,170	166.35
増減額(B-A)	730	210	270	170	
増減率(%)	2.4	13.6	16.1	17.0	

(注) 当社は2023年1月期第1四半期より連結決算へ移行しているため、前期第2四半期実績(2022年1月期第2四半期)および前期実績(2022年1月期)は記載しておりません。

(3) 連結業績予想の修正の理由について

第2四半期累計期間の売上高につきましては、当社にとって最大の商戦である2月のバレンタインデーが、オミクロン株による感染者数のピーク時期と重なり減少したものの、3月下旬にまん延防止等重点措置が全面解除

されたことにより経済活動は正常化に向かい、商業施設や観光地への人流が増加したことで、売上高は前回予想を上回る見込みとなりました。損益面につきましては、増収効果や、効率的な生産体制による生産性の向上、店舗の人員体制の最適化に加えて、原材料価格は急上昇を続けているものの売上原価率への影響はまだ限定的であったこともあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績の状況を踏まえつつ、今後は原材料価格の高騰や、光熱費、物流コストなどの上昇が売上原価や販売経費に大きく影響してくることも勘案し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに見直しを行いました。

2. 個別業績予想の修正について

(1) 2023年1月期第2四半期（累計）個別業績予想（2022年2月1日～2022年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 13,450	百万円 480	百万円 620	百万円 370	円 銭 52.61
今回修正予想（B）	14,140	750	930	600	85.31
増減額（B-A）	690	270	310	230	
増減率（%）	5.1	56.3	50.0	62.2	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2022年1月期第2四半期）	^(注1) 12,218	548	605	145	^(注2) 20.73

(2) 2023年1月期通期個別業績予想（2022年2月1日～2023年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 29,900	百万円 1,670	百万円 1,810	百万円 1,140	円 銭 162.09
今回修正予想（B）	30,570	1,830	2,030	1,250	177.72
増減額（B-A）	670	160	220	110	
増減率（%）	2.2	9.6	12.2	9.6	
（ご参考）前期実績 （2022年1月期）	^(注1) 27,207	2,012	2,126	1,028	^(注2) 146.29

（注1）2023年1月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しているため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の業績予想となります。前期第2四半期実績（2022年1月期第2四半期）および前期実績（2022年1月期）の売上高は当該会計基準等適用前の数値です。なお、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、当該会計基準等適用の影響はありません。

（注2）2022年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、前期第2四半期実績（2022年1月期第2四半期）の1株当たり四半期純利益および前期実績（2022年1月期）の1株当たり当期純利益を算定しております。

（注）上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。